

広報

いちき串木野

愛がっぱいのまち

Ichikikushikino City

Public Relations

1

2020年1月20日発行
VOL.171





新成人 おめでとう

1月3日、市民文化センターで成人式が行われました。式には、222名の新成人が参加し、成人を祝い、友人との再会を喜ぶ姿が見られました。

式に参加した出水柊さんは、「両親や友人をはじめ、いろいろな人に支えられてここまで成長できた。これからは、恩返ししていきたい」と新成人として今後の抱負を話しました。



成人式実行委員会

成人式の運営や、式典後の催しなど、式典を大いに盛り上げてくれました。

新成人代表 こあくつ 小唄 さくら さん

成人という節目に、たくさん支えてくれた家族をはじめ、関わって下さった全ての方に感謝し、社会に貢献することで恩返ししていきたいと思います。

成人式を迎えた今日、自らの初心をもう一度確認し、責任ある社会人としてこれからの人生を歩んでいくことを誓います。



新たな決意を胸に 消防出初式



1月12日、市民文化センターで、消防団員363名、消防車両等22台が参加し、消防出初式が行われました。
出初式では、消防団行進、消防車両のパレードのほか、放水訓練の披露、市来幼稚園による規律訓練などが披露され、多くの市民が観覧に訪れました。



令和2年いちき串木野市消防出初式表彰者

日本消防協会会長表彰【竿頭綬】			消防庁長官表彰【永年勤続功労章】		
団本部	団長	西村 博孝	羽島	分団長	福永 茂幸
日本消防協会会長表彰【勤続章（30年以上）】					
湊	分団長	前田 浩幸	川上	部長	前田 行弘
川上	分団長	鹿丸 滋樹	羽島	部長	川口 勝良
川北	副分団長	富永 豊			
鹿児島県知事表彰【10年勤続章】					
川北	班長	豊田 政浩	照島	団員	平石 裕
中央	団員	島津 弘道	照島	団員	中尾 和夫
中央	団員	橋口 孝二	湊	団員	原田 正悟
鹿児島県消防協会総裁表彰					
功績章（20年以上）					
冠岳	部長	山本 伸一	羽島	班長	平石 芳人
中央	班長	川元 悟嗣	川南	班長	本鍋田 優作
羽島	班長	川口 和浩	旭	団員	松元 徹
精績章（15年以上）					
羽島	団員	萩元 達哉			
鹿児島県消防協会日置支部長表彰【15年勤続章】					
中央	班長	木場 努	羽島	団員	中養母 孝行
照島	班長	網屋 心一	湊	団員	白石 貴史
冠岳	班長	川畑 寛城			
いちき串木野市長表彰【10年勤続章】					
本浦	班長	栗元 一貴	羽島	団員	土川 一徳
中央	団員	土川 大幸	湊	団員	原田 正悟
中央	団員	入枝 紀仁	川上	団員	吉留 廣樹
照島	団員	中尾 和夫			
感謝状（20年以上勤続団員の奥様）					
川元 ひろみ	川口 万里子	平石 ひろみ	本鍋田 泉	松元 章子	

今年も出店♪

～いちき串木野市ふれあいフェスタ～



里芋、からいも、かぼちゃに新しょうが…採れたての新鮮野菜をはじめ、干し芋、大根漬、ジャムにお味噌など、おごじょ手作りの農産加工品がズラリと並びました。



恒例となった「おごじょのもち米」の量り売りコーナーも大好評！今年は昨年にも増して品質が良く、おごじょ達が自信を持っておすすめします♪

チャレンジ農業♡おごじょ塾では、このイベントを学びの場として位置づけています。商品の価値や価格、見せ方など、それぞれがアイデアを出しながら取り組みました。

心を込めて作った野菜や加工品を喜んで買っただけなのは、最高の幸せだと実感します。

たくさんのお客様とふれあい、おごじょスマイルが輝いた一日となりました(*^_^*)



おごじょスマイル♪

地産地消 de 「お正月料理」に挑戦！

講師：松下洋子氏



今年で3回目のおごじょの正月料理教室。すっかり定番メニューとなったのは、鹿児島島の郷土料理「こが焼き」です。

魚のすり身と卵、豆腐、砂糖を混ぜ合わせて蒸し、仕上げにフライパンでこんがり焼き色を付けます。見た目は四角く、卵焼きのような形ですが、食べるととても優しい甘さで、まるでスイーツのよう♡おごじょ達もニコニコ笑顔がこぼれます。昔はごちそうとして、お祝い事には欠かせない料理だったそうです。

鹿児島の正月料理と言えば、他にも「焼きエビと豆もやしのお雑煮」「田作り」「紅白なます」「金柑甘煮」「煮しめ」などなど…、懐かしいおふくろの味が思い浮かびます。いつまでも守り伝え、作り続けたい手作りの郷土の味です♪

～お品書き～

- ・こが焼き
- ・キウイきんとん
- ・エビの白ごま揚げ
- ・春菊とじゃこのがき揚げ
- ・里芋のりんごみそがけ
- ・白菜なます(ゆず風味)



食彩だより

海・山など自然に囲まれ、様々な食材・食文化に恵まれたいちき串木野市の食に関わる情報をお伝えします！

給食センター(☎33-0239)

学校給食の歴史

1月24日は、学校給食記念日です。日本の学校給食は、山形県の私立忠愛小学校において貧困児を救うために提供されたことが始まりとされています。

明治22年



おにぎり
塩ざけ
菜の漬物

山形県鶴岡市にあった私立忠愛小学校は、どの子にも教育を与えたいと市内の寺院が共同で設立した学校です。そこで貧しくてお弁当を持ってこれない多くの児童のために出されたのが最初の給食です。

昭和27年



コッペパン
ミルク(脱脂粉乳)
鯨肉の竜田揚げ
せんキャベツ
ジャム

戦後、昭和21年に東京などで再開された給食は、パン・ミルク・おかずの給食スタイルに定着していきました。昭和29年には「学校給食法」が成立し、また学習指導要領で給食が教育活動として位置づけられました。

現在の給食(令和)



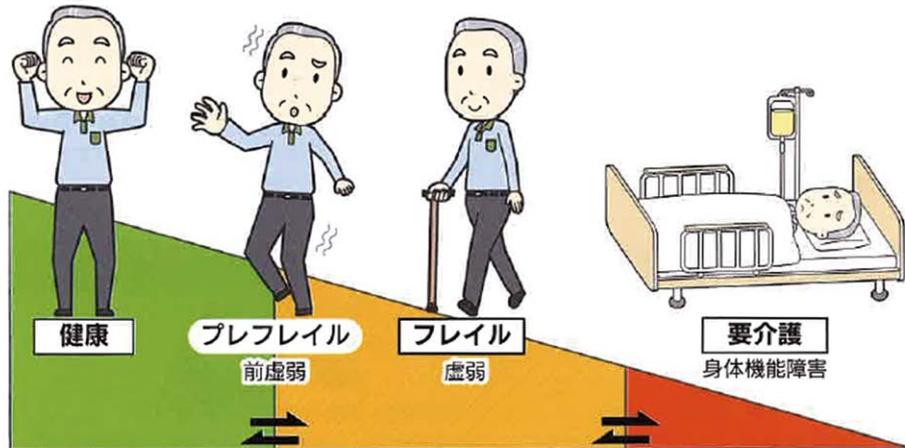
麦ごはん 牛乳
じゃがいもとあさりのみそ汁
まぐろと大豆のオーロラソース
野菜のレモンあえ

戦後の復興を遂げ、昭和39年の東京オリンピックを機にミルクが牛乳へと変わりました。さらに食生活の洋風化が進む中、昭和51年に米飯給食が導入されました。平成17年には「食育基本法」と栄養教諭制度が成立し、現在は、地場産物を活用した献立をはじめ、食に関する学習の生きた教材としても活用されています。

フレイル予防でいきいき生活!

～いつまでも元気に暮らすために～

フレイルとは、年齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下して、要介護状態に近づくことです。早く気づいて正しく予防や治療をすれば、フレイルを防ぐことができます。加齢による老化現象を見逃さず、自分自身でできることを探して実行しましょう。



フレイルとは、健康な状態と要介護状態のちょうど真ん中の状態のことです。

- 身体的なフレイル…年とともに筋肉が減り、食べる量も減って、サルコペニア（筋肉減少症）や転倒のリスクが高まります。
- 精神的なフレイル…意欲や気力が低下して、何をすることも面倒になって、老人性のうつや認知症になるリスクが高まります。
- 社会的なフレイル…外出する機会が減ってとじこもりがちになり、その結果、人との交流がなくなって、孤立しがちになります。

「十分な栄養摂取」 「適度な運動で体力づくり」 「積極的な社会参加」
この3つを日常生活の中に意識して取り入れていくことで、フレイルを予防・改善できます。

フレイル予防にも!

ころばん体操実施中!

市内 109 公民館で実施中です。週 1 回 公民館でころばん体操をすることで、「筋力アップ」と「元気度アップ」につながります。随時、参加者募集中です。



5周年記念大会も開催!

ころばん体操に取り組んでいる方を中心に市総合体育館で 890 名が参加しました。リハビリ専門職の皆さんと一緒にころばん体操を実施しました。



まちの話題

文部科学大臣表彰



11月14日、三重県津市で開催された第60回全国スポーツ推進委員研究協議会で元スポーツ推進委員の福田初美さんが「文部科学大臣表彰」を受賞されました。

福田さんは、平成28年3月まで35年の長きにわたりスポーツ推進委員として本市に多大な功績を残されました。

おめでとうございます。

地域文化功労者表彰



11月26日、京都府で、所崎平さんが令和元年度地域文化功労者表彰(文部科学大臣表彰)を受賞されました。

所崎さんは、いちき串木野市文化財保護審議会会長として、市民の文化財愛護の普及と保護に努めている傍ら、鹿児島民俗学会員としても長く活動され、平成15年からは代表幹事として鹿児島県内の民俗研究の推進に尽力されていることなどが評価されました。

また、平成17年に「かごしま食暦」、平成25年には明治期の下級武士の生活をまとめた「児玉宗之丞日記上巻・下巻」を発刊しています。

おめでとうございます。



「地域学校協働活動」 推進に係る文部科学大臣表彰



12月2日、東京都で、生冠中学校の学校運営協議会が、令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞されました。

今回の受賞は、学校運営協議会と地域学校協働活動が一体的に推進され、学校支援や地域貢献などを通して、地域と学校が連携・協働しながら子どもの成長を支え、地域活性化にもつながっている取組が評価されました。

おめでとうございます。

レスリング天皇杯優勝



12月20日、東京の駒沢体育館で行われた令和元年度全日本レスリング選手権大会で本市出身の田中哲矢選手が優勝しました。

男子フリースタイル125kg級に出場した田中選手は、1回戦から順当に勝ち進み、決勝ではこの大会2連覇中で過去に1度しか勝ったことがない選手に勝利を納め日本一となりました。

優勝した田中選手は、3月に中国で行われる東京オリンピックのアジア予選へ出場します。2度目の挑戦となるアジア予選に向けて「思い切って今までやってきたことを全て出し切り、自分を信じて試合に臨みたい」と意気込みを話しました。

オリンピック出場に向けて、ぜひ頑張ってください。



神村学園女子駅伝部 堂々の全国2位



12月22日、京都市で行われた第31回女子全国高等学校駅伝競走大会に鹿児島県代表として神村学園女子駅伝部が出場し、1時間7分19秒で第2位となりました。

前回初優勝を成し遂げ、連覇を狙う神村学園は予選会でのタイムは全国1位で今大会を迎えました。レースでは、やや出遅れるも2区のバイレ・シンシア選手が13人抜き快走で、首位に躍り出ます。その後、順位を落としますが、最後は2位でゴールしました。

5区を走った中須瑠菜主将は、この1年間、連覇への期待にプレッシャーを感じていたそうです。しかし、チームメイトと「期待をプレッシャーに感じるのではなく、力に変えて頑張ろう」と1年間取り組んできました。

今回の2位という結果に、中須主将は「連覇を目指して臨んだので悔しい気持ちもあるが、たくさんの応援や支援のおかげで力が出せた。次は、今大会の都大路を経験した選手が全員残るので、今回の悔しさを持ち続けて、最高の結果を残したい」と全国制覇へのリベンジを誓いました。

神村学園 これまでの記録(過去5年)

- ・2014年 8位 1時間9分12秒
- ・2016年 3位 1時間8分14秒
- ・2017年 8位 1時間9分04秒
- ・2018年 1位 1時間7分25秒
- ・2019年 2位 **1時間7分19秒**
(学校・県最高タイム)

(出走選手)

- 1区(6.0km) 木之下 沙椰 選手(2年)
20分03秒
- 2区(4.0975km) バイレ・シンシア 選手(2年)
12分25秒
- 3区(3.0km) 黒川 円佳 選手(2年)
9分33秒
- 4区(3.0km) 鳥居 華 選手(2年)
9分22秒
- 5区(5.0km) 中須 瑠菜 選手(2年) 主将
15分56秒

若者のエネルギーを感じる チルドレンフェスティバル



12月22日、市民文化センターで第22回チルドレンフェスティバルが開催されました。

チルドレンフェスティバルは、小学生から高校生の青少年が自分達で企画・運営し、手作りで行っています。当日は、和太鼓・吹奏楽・書道パフォーマンス・ダンスやバンド演奏、着物着装など、バリエーション豊富な演目が披露され、ロビーでは、お茶の振る舞いと創作活動があり、未来を担う若者のエネルギーに満ちたイベントになりました。

まちづくりを考える若者“未来”会議



人口減少・少子高齢化が進むなかで、若者目線でこれからのまちづくりについて自由に考える若者“未来”会議が、12月15日にいちき串木野商工会議所で開催されました。

市内外の各団体から約30名の参加があり、意見発表のなかでは「市内には多くの魅力があるが、上手く伝えられていない。SNS等で広く発信することで、魅力向上や定住促進につなげたい」など、今後自分達が中心となり取り組んでいく課題やアイデアなどが次々と挙げられました。



イチゴ狩り楽しんで ～イチゴ観光農園オープン～



大里の「いちごハウス木場」が、本格的なイチゴ観光農園シーズンを前に、県内でも一足早くオープン。「イチゴ」にかけて12月15日(イチゴ)に開園式が行われました。

ビニールハウスの中はイチゴの甘い香りに包まれ、多くの参加者がイチゴ狩りを楽しみました。

生産者の木場俊介さんは、「7月の豪雨によるハウスの冠水や、暖冬で定植後の苗が病気で枯れたりと心配が続いたが、上々の出来でオープンを迎えることができた」と話しました。

イチゴ狩りは5月上旬まで楽しむことができます。



笑顔ひろがる 高校生レストラン



神村学園の調理コースとパティシエコースの生徒が、地元食材を使い考案した、「伍彩御膳」を販売する高校生レストランを12月14日、同学園の生徒食堂で開きました。伍彩御膳は、オリンピックの五つの輪をイメージしたもので、炙りマグロのカルパッチョ、コナツツミルクなどでさっぱりと味付けされたパエリアなど、五大陸の料理を生徒がアレンジし、色鮮やかに盛り付けられて販売。訪れた人は、その彩りに笑顔がこぼれていました。

フロアリーダーを務めたパティシエコース3年生の西野真珠紅さんは「笑顔で食べていただけるよう、笑顔での接客に心がけた。配膳も遅れないように、スピーディーにできた」と楽しそうに働いていました。

食堂内では生徒の心のこもったおもてなしに、訪れた家族連れなどが楽しく会話し食事する様子がみられました。

サンタのプレゼントに笑顔 年の瀬市



旭町中央通り会、串木野シール会共催の「いちき串木野年の瀬市」が12月22日、旭町中央通り商店街で開催されました。

会場では、ぜんざいのふるまい、プラネタリウム、ボッチャゲーム体験などがあり、多くの家族連れが楽しみました。実行委員などがサンタクロースに仮装し、子ども達へお菓子をプレゼントすると、子ども達は笑顔いっぱい受け取っていました。

プレゼントをもらった城之園乃々羽ちゃんは、「帰ったら家族で食べたい」とうれしそうに話しました。

大きなさつまいも穫れたよ 芋ほり体験



11月27日、串木野保育園と市来保育園の園児がさつまいもの芋ほりを体験しました。

これは、濱田酒造株が自社農園で毎年行っているもので、園児は自分の名前を書いたプレートを目印に、5月に植えて大きく育ったたくさんのさつまいもを楽しく収穫しました。

体験会後は、さつまいも講座やふかしいもの試食を行い、自然の大切さを学んでいました。